

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	＜実習＞ 二年次 応用①実習 電子制御式燃料噴射装置Ⅱ				
概要と目的	職場レベルの技術を身に付ける 国家試験レベルの知識を身に付ける				
担当者	舟坂 義幸、竹内 章夫	単位数	27 時限	区分	実習
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員が電子制御式燃料噴射装置Ⅱについて教育を行う科目。				
講義対象	二年生	時期	4月～5月		
使用教材	トヨタマークⅡ ベンチエンジン 教科書(故障と探究)				
到達目標	個人レベルの作業の習得				
成績評価	実技試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25%、B評価が45%、C評価が30%を基準とする。				
<b>授業計画</b>					
1 時限	導入と実習目的 実習ノート作成				
2 時限	故障探求導入(故探P5～8) 故障探求の流れ、不具合事例 ※実習ノート使用				
3 時限	トラブルシュートのヒント(故探P11～13) パワーバランス、火花点検				
4 時限	トラブルシュートのヒント(故探P43～45、14) インジェクタ作動音、圧縮点検				
5 時限	トラブルシュートのヒント(故探P40～43、9) エアの吸い込み、燃圧点検、混合気の濃さ				
6 時限	ダイアグノーシス点検 ※実習ノート使用 故障探求事例について				
7 時限	EFI故障探求の基本的な考え方について 故障探求実例の実施 ※実習ノート使用				
8 時限	故障探求実例の実施 ※実習ノート使用				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格		実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり		あり

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	＜実習＞ 二年次 応用①実習 電子制御式燃料噴射装置Ⅱ			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
<b>授業計画</b>				
9 時限	故障探求実例の実施 ※実習ノート使用			
10 時限	故障探求実例の実施 ※実習ノート使用 故障探求実践			
11 時限	故障探求実践			
12 時限	故障探求実践、まとめ 配線図の読み方、配線図と現車確認			
13 時限	オシロスコープ導入、 取り扱い手順と注意点、各スイッチの役割と操作方法			
14 時限	オシロスコープ操作(模擬信号取り込み、画面表示、表示方法の変更)			
15 時限	オシロスコープ操作(模擬信号取り込み、画面表示、表示方法の変更)			
16 時限	インジェクタ駆動信号波形測定表示、信号波形について解説			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	<実習> 二年次 応用①実習 電子制御式燃料噴射装置 II			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
<b>授業計画</b>				
17 時限	IGT、IGF、IG(-)信号波形測定表示、信号波形について解説			
18 時限	ISC駆動信号波形測定表示、信号波形(デューティ信号)について解説			
19 時限	クランク各センサ(G、Ne)信号波形測定表示、信号波形について解説			
20 時限	オシロスコープ波形表示個人練習			
21 時限	オシロスコープ波形表示個人練習 O2センサ、パキューム・センサ、ノック・センサ信号表示確認			
22 時限	オシロスコープまとめ、片付け 反復練習(故障探求実践、オシロスコープ)			
23 時限	反復練習(故障探求実践、オシロスコープ)			
24 時限	反復練習(故障探求実践、オシロスコープ) 片付け、清掃、まとめ			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		

シラバス 自動車整備科 二級自動車整備士 コース

講義名	＜実習＞ 二年次 応用①実習 電子制御式燃料噴射装置Ⅱ			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
<b>授業計画</b>				
25 時限	実技試験			
26 時限	実技試験			
27 時限	実技試験			
<b>伝達事項等</b>				
校長	所 属			
	学科長	担当者		